

令和3年度第1回和光市史平成版編集委員会議事録			実施日：令和3年5月18日（火）	
			14:00～15:30	
場所	ZOOM 会議	出席者	編集委員：宮瀧先生、佐々木先生、磯、黒沢 和光市(事務局)：茂呂課長、鈴木様、石田様、中岡様、相田様 ぎょうせい：平澤、徳島	
議題	プレ初校（「和光市の歴史（かこ）をふりかえる」）編さん委員の意見を受けて内容検討		配付物	各委員からの意見聴収の資料一式 （ZOOM 会議に伴い、事前に和光市より、送付済み）
各編さん委員からの意見について協議 ・最初に、各編さん委員からの意見の内容を踏まえ、その対応案について事務局から説明（和光市：石田様、鈴木様）。宮瀧先生、佐々木先生、編集委員より事務局の対応案について、質問・確認、協議を行い、原則事務局案のとおり進めることで了承した。ただし、現状の事務局案では割愛部分となっている箇所については、すべて必要項目なので割愛は不要と佐々木先生からご指摘をいただいたので、全体のバランスを取りながら検討していく方向となった。 ・各委員からの意見はできるだけ取り入れる形にするが、ページ数の制約もあることから、全体のバランスを見ながら調整していく。写真・図版についても、編さん委員の意見を参考に、今後選定を検討していくこととする。 また、註については、組見本で示したように、同一ページ内の下段の部分に入れていく方向で決定し、この註を活用することで、今後、本文分量との調整を図っていくこととした。 ・現在のプレ初校の内容は全体の流れはよくわかるが、その当時の人々の暮らしについての記述が少ないため、市民の方に手に取ってもらいづらいと感じる（宮瀧先生談）。要所の部分で、その当時の人々の暮らしについての記述を、200 文字程度で記述を入れたらどうかと宮瀧先生より提案あり。佐々木先生も同意、その他全員賛成となり、入れる方向で決定した。原稿については、宮瀧先生にご執筆いただけることとなった。 ・ルビの振り方については、「中学生の子どもが読める」形にしたいことから、専門用語へのルビ付けが必要。ただし、ページへの影響もあるのでルビの厳選が必要。事務局サイドで、ルビの言葉の厳選後、ゲラに反映していくことで決定した。この後のプレ初校（「平成をたどる」）も同様の対応となる方向。また、人権問題に関わる点についても、内容に大きく影響が出るため事務局サイドで必ず確認の旨、宮瀧先生よりアドバイスあり。 ・内容が形になってきたら、市内の中学生に読んでもらうのも一つの手。市史に協力してもらったお礼として、書籍に名前を載せるなども良いのではないかと宮瀧先生、佐々木先生から提案。事務局としても前向きに検討する方向で決定した。 【今後の予定】 ・5月28日（金）に、本日の協議内容の報告を含めた書面会議を実施。 ・次回第2回の編集会議は、6月29日（火）16時から ZOOM 会議にて実施。 内容は、プレ初校「和光市の平成をたどる」の編さん委員からの意見について協議。				
[以上]				